

東部圏域における継続協議病床の整備の考え方について

医療機能の分化と連携を推進し、急性期から回復期、在宅療養に至るまで、地域全体で切れ目なく必要な医療を提供する「地域完結型医療」を構築するため、地域保健医療・地域医療構想協議会からの意見を踏まえ、以下の考え方を基本に病床整備を進めることとする。

■課題

- ・ 東京都や千葉県を中心に一定の入院患者が圏域外に流出している状況にあり、救急搬送受入状況では、照会回数が4回以上となる割合や現場滞在時間が30分以上となる割合が他圏域と比較して高くなっている。
- ・ 高度急性期・急性期を脱した患者の受け皿が不足しており、新たな救急患者の受入れを行うことが困難となっている。
- ・ 高度急性期・急性期病院からの転院に加え、介護施設等からの緊急入院の受入れ、在宅復帰支援を行う地域包括ケア病床が不足している。

○急性期機能（救急）

- ・ 二次救急医療圏内での完結率の向上、受入照会回数の減少、現場滞在時間の短縮等の改善を図り、搬送困難事案受入医療機関である獨協医科大学埼玉医療センターの負担軽減ため、同事案の受入を行う二次救急病床の整備を進める。

○ポストアキュート機能

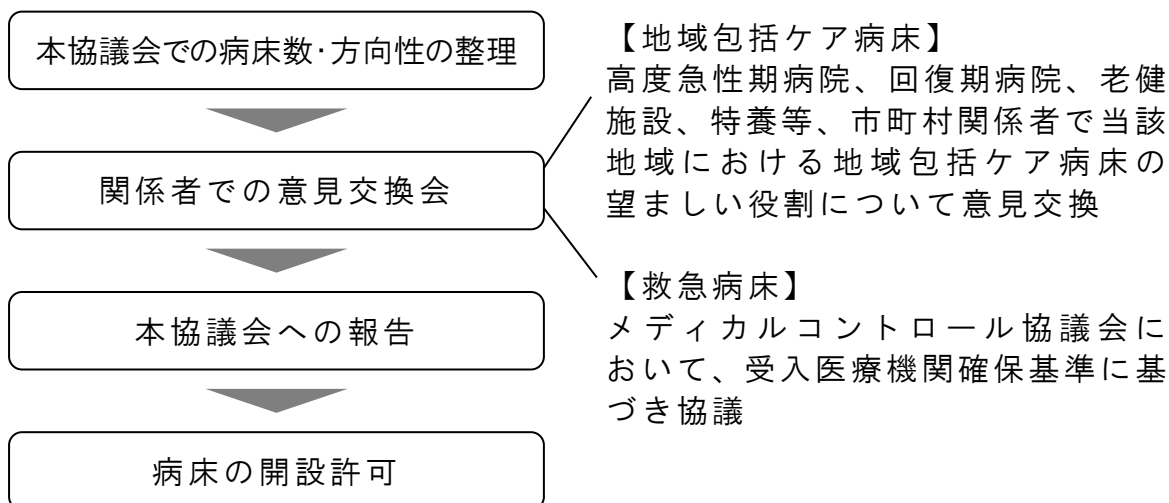
- ・ ポストアキュート機能を担う地域包括ケア病床等については、地域完結型医療を推進するため、自院内からの転棟を中心とした自院完結型の病床ではなく、他の急性期病院等と連携し、患者受入れを行う病床の整備を進める。

○サブアキュート機能

- ・ 在宅・介護施設等で症状の急性増悪した患者（サブアキュート）機能を担う地域包括ケア病床等については、地域の在宅診療支援診療所や高齢者施設等と連携し、夜間・休日等の受入れなど、地域のニーズに対応した患者受入れを行う病床の整備を進める。

なお、今回地域包括ケア病床等を整備する病院においては、「圏域内の急性期病院からの転院依頼を自院都合で断らない」「高齢者施設等からの急性増悪時の入院依頼を自院都合で断らない」ことを基本とするが、地域によって必要とされる機能は異なるため、地域包括ケアシステム構築に向け、関係者で協議を行うこととする。

【病床整備までの協議の流れ】



【継続協議に係る病床整備案】

病院名	計画地	整備病床数	主な機能	備考
三愛会総合病院	三郷市	96床	救急 地域包括ケア	6号基準
慶和病院	越谷市	40床	地域包括ケア	
(仮称) 埼玉越谷病院	越谷市	31床	地域包括ケア	
みさと健和病院	三郷市	20床	地域包括ケア	
鳳永病院	草加市	10床	回復期リハ	
越谷誠和病院	越谷市	—	—	辞退
	計	197床		

【参考】協議済みの整備病床

病院名	計画地	整備病床数	主な機能	備考
武里病院	春日部市	46床	在宅療養支援	
リハビリテーション天草病院	越谷市	4床	回復期リハ	
永井マザーズホスピタル	三郷市	5床	周産期	
しらみず産婦人科クリニック(有床診療所)	越谷市	14床	周産期	
	圏域計	266床		